

# 携帯電話に関する市場調査報告書

～ 多様化する市場、通信を使い分ける時代へ向けて ～

携帯電話WG(企画管理部 統計室)

携帯電話WGでは、携帯電話の市場動向の把握、業界統計の整備、市場における課題の把握と対応や新規需要の創造および市場育成を目的として活動を行い、その結果を本報告書にまとめました。

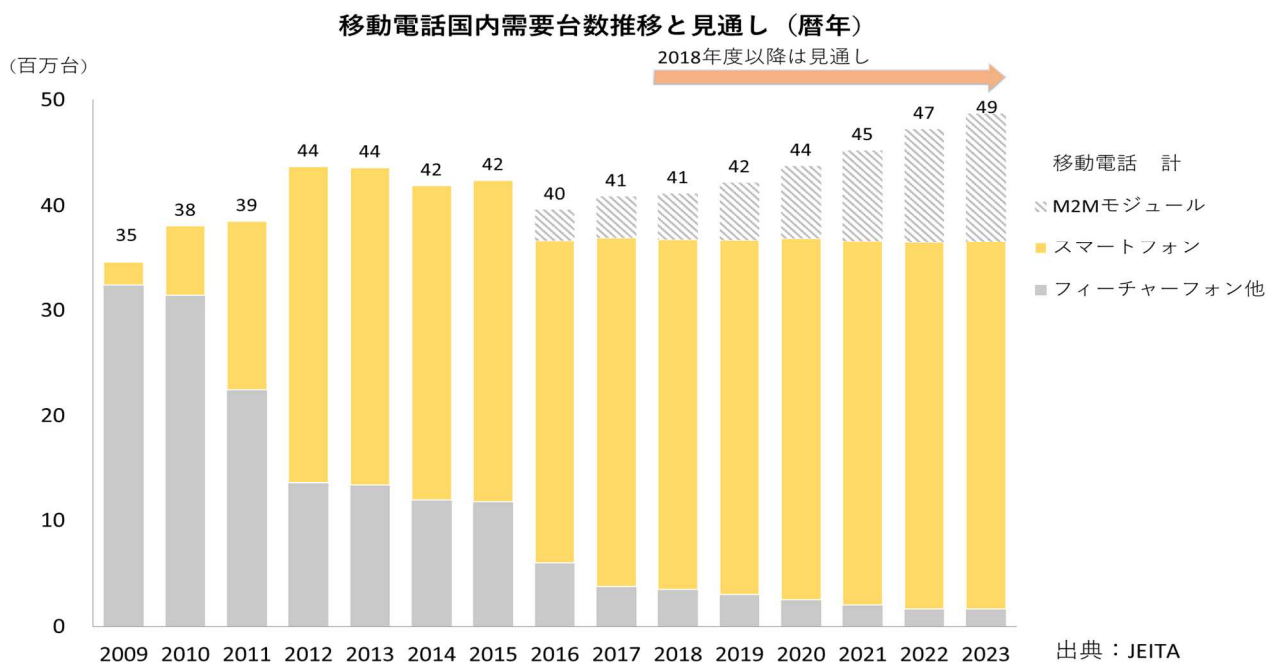
業界統計だけでは把握できない国内総需要台数を推計するとともに、2023年までの見通しをまとめています。また、本WGで実施した販売店調査やMVNO市場の現状を把握するヒアリング調査等の調査結果より浮かび上がった市場の課題を整理しています。本誌が皆様のお役にたてば幸いです。

## 背景

2010年以降、スマートフォンの急速な市場拡大、2011年にLTEサービスがスタートしたことで、高速通信環境は急速に拡大し、動画閲覧機能や電子書籍閲覧機能、オンラインゲーム機能といった有料サービスが広がることで利用シーンが増え、利用シーンに応じて端末を複数台持ち、使い分けをする動きが広がっている。また、携帯電話端末は急速な発展を続けるクラウドコンピューティングや、今後訪れるであろう「モノのインターネット（IoT：Internet of Things）時代に、その入口を担う端末として大きな期待が寄せられている。

## 国内需要台数推計と2023年までの見通し

統計参加外企業を含めた2017年における日本市場全体の需要台数は、40,860千台、前年比103.2%とプラスとなった。うち、スマートフォンは33,223千台、前年比108.3%、スマートフォン比率は89.9%となった。2018年以降も国内需要台数は徐々に増加し、2023年には48,694千台、スマートフォン比率は95.5%に達するものと見通した。2015年にはSIMフリーやMVNO（Mobile Virtual Network Operator 仮想移動体通信事業者）を背景とした格安スマートフォンが登場し、2016年から2017年へと市場が拡大している。2018年以降は、IoT市場の拡大に伴うM2M通信モジュールの需要増や、IoTとネットワークを繋ぐゲートウェイとしてのスマートフォンの用途拡大によって端末の増加が期待される。



※2016年11月までは公衆用PHSを含む。

※単位未満四捨五入の関係により合計が一致しない場合がある。

## 世界市場における移動電話の現状と将来に関する調査

2018年の移動電話の世界生産台数は19億2,052万台、前年比103.7%と見通した。またスマートフォン比率は83.7%まで高まる見通しである。先進諸国においては、中国メーカーによる中・高機能端末の低廉な価格での市場投入や、インド、インドネシア等の新興諸国ではローカルメーカーによる廉価版スマートフォンの市場投入により台数は増加すると思われる。

## 販売店調査・日本市場の課題調査

国内の販売店7店舗（23区内auショップ、首都圏地区ドコモショップ、首都圏地区ソフトバンクショップ、23区内ワイモバイルショップ、23区内量販店、関西地区ドコモショップ、関西地区auショップ）にヒヤリング調査を行い、市場の現状を広く把握した。販売店調査の結果、全体としてスマートフォンの比率は高まり、特にスマートフォンを利用している年配層は増えている。更なる販売強化のため、年配層向けのスマートフォン教室の実施など店舗それぞれで客層に合わせた工夫が見られた。また、格安スマートフォンとして、前年度はMVNOが注目されたが、今年度は大手キャリアが長期割引プランやサブブランドの強化などで対応策を講じており、今度も動向を注視していく必要がある。

## MVNO市場の現状・課題と将来に向けた取り組み

国内のスマートフォン市場の現状を取り巻くさまざまな課題のうち、2017年度は、初めての試みとしてMVNO市場の現状や今後の市場拡大に向けた課題を調査する為、楽天株式会社や、株式会社トラベルテックラボ等のMVNO事業者を訪問し調査を行った。激化する市場ではあるが、今後サービスやアプリケーションを組み合わせた新しいビジネスモデルを持つMVNO出現の兆候が見られた。今後もMVNO市場動向を把握するため、サービスを含めて調査を継続していく。

## 刊行案内・目次

書名：移動電話に関する市場調査報告書

～ 多様化する市場、通信を使い分ける時代へ向けて ～

## 第1章 調査の概要

## 第2章 日本市場における移動電話の将来に関する調査

- 2.1 調査の概要
- 2.2 移動電話の日本市場(内需)動向
- 2.3 携帯電話の国内出荷(統計実績)動向
- 2.4 日本市場におけるトピックスと  
通信方式・契約数の推移  
(世代別通話の通信方式・キャリア別通信  
方式・4G/5Gの定義と動向等)

## 第3章 世界市場における移動電話の現状と将来に関する調査

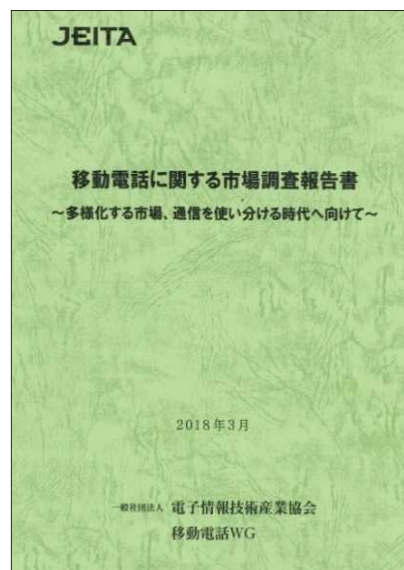
- 3.1 調査の概要
- 3.2 移動電話の世界市場動向
- 3.3 世界市場におけるトピックス

## 第4章 移動電話を取り巻く日本市場の現状に関する調査

- 4.1 販売店の現状調査(ドコモショップ・ソフトバンクショップ・auショップ・ワイモバイルショップ等)
- 4.2 日本市場における移動電話の課題に関するヒヤリング  
～MVNO市場の現状・課題と将来に向けた取り組み～  
(楽天株、(株)トラベルテックラボ、(株)MM総研)

## 第5章 まとめ

- 5.1 2017年度調査のまとめと考察
- 5.2 移動電話市場に関する課題
- 5.3 今後の活動



- サイズ : A4判66頁(2018年3月)
- 頒 価 : 一般 21,600円/会員 10,800円(税込)
- 発 行 : 一般社団法人 電子情報技術産業協会
- 編 著 : 移動電話WG